

平成30年度 第14回 吹田市政策会議概要

日 時：平成31年1月29日（火）午前9時～午前9時30分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

構成員：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、稲田行政経営部長、
岩田会計管理者

所 管：【消防本部（総務予防室）】村上消防長、笹野理事、大矢根理事、
深川総括参事、羽間参事、細木主幹

【総務部（危機管理室）】清水危機管理監

【土木部（総務交通室）】松本部長、真壁次長、愛甲室長

【学校教育部（教育センター）】大江教育監、岡本参事

案 件	北部消防庁舎等複合施設建設基本構想・基本計画の策定について
担当及び関連部局	消防本部（総務予防室）、総務部（危機管理室）、土木部（総務交通室）、学校教育部（教育センター）
【案件概要】 阪急南千里駅西側の第13駐車場跡地に、北消防署、中消防庁舎、南千里庁舎及び教育センター等を集約した北部消防庁舎等複合施設の建設を進めていく上での基本的な考え方を取りまとめた「北部消防庁舎等複合施設建設基本構想・基本計画」を策定するもの。	
【所管部の考え方】 「北部消防庁舎等複合施設建設基本構想・基本計画」を策定し、北部消防庁舎等複合施設建設の事業を進めたい。	
【質疑概要】 質問： 新複合庁舎整備に関する基本的な方針の一つに、「社会情勢の変化に柔軟に対応できる施設」とあるが、具体的な内容が記載されていない。どのような機能を考えているのか。 回答： 例えば、躯体と内装、設備を分離したスケルトン・インフィルという工法を採用することで、内装の変更を容易にし、柔軟な対応が可能な施設にするといったことを考えている。 意見： 新複合庁舎の建設のみならず、移転により生ずる跡地の検討の必要性もしっかり認識する必要がある。 指示： 災害発生時には、災害対策本部を設置することを想定し、また、他市応援の受入れや、仮眠室の必要性も考慮するなど、有事の拠点としての整備を実施設計の中で具体化すること。	

指示： 施設規模が大きいことから、環境や景観に十分配慮すること。

指示： 安心なまちづくりのための体制整備が、市民の目で直接見える施設とすること。

また、災害時には欠くことのできないエネルギーや通信が確保できる災害対応拠点施設とすること。

【結果】

本案件は承認された。今回の会議で出された意見を踏まえて、手続を進めること。